

## 2023年5月27日 甲子園阪神・巨人戦の応援観戦記

今日の猛虎会参加者： 水野 西田 富田 佐藤 矢持 山口 久保田の7名  
(3-2 で阪神勝利の模様)

2月11日西田さんからライト外野席8枚、5月27日(土)14時開始の巨人戦のチケットが取れたとEメールで連絡を受け、チケットは3月11日社友会支部総会で渡してもらう。値段はライト外野席で¥2,100

当日自宅出発が遅れ球場に到着は阪神タイガースが1回裏の攻撃に入る直前で、球場内の入り口に近い売店で甲子園名物の串焼き5本(2,500円)を求めて入場し参加者にプレゼント。

ライト外野席49段・142番の席は最高段迄残り5段の所で観戦にはとてもよいところ。水野支部長を除く予約の猛虎会6人が既に着席していた。

今日は天気が良く晴れ、最高気温は25.4℃で暑いくらいであったが、日差しが遮られて快適な応援席だった。

阪神先発は5連勝中の大竹(昨年までソフトバンク)、巨人は4勝1敗のグリフィンで息詰まる投手戦となった。

途中社友会から生ビールの差し入れがあった。

ライト外野席はトラキチのファンがいっぱいで選手個人毎の応援歌が合唱される。

6回まで両投手の投げ合いとなりゼロ行進が続くが、7回ラッキーセブンで「六甲おろし」を歌い阪神は近本、中野のタイムリーで3点を先制。今季は7、8回の得点が多い阪神。コロナ禍前は7回裏攻撃前に風船飛ばしをしていたがまだ風船は解除されていなかった。

9回表、巨人は中継ぎの浜地、及川を攻めプリンソンが浜風をものともせず5号2ランで3-2と迫ったが、最後は鍛冶屋が初セーブを挙げ3-2のまま阪神の今季30勝目でゲームセット。

先発大竹は無傷の6勝目でリーグトップに。貯金16で2位のDeNAに6ゲーム差の独走態勢に入った。今日の入場者数は42,620人で甲子園今季最高であった。

水野支部長は3時に来場、佐藤氏は4時30分に帰宅し、祝勝会は水野、富田、山口の各氏3名で今津の大阪王将でこぢんまりと行ったとの由。

猛虎会の次回は9月18日(月・祝)DeNA戦の予定。

(投稿：久保田さん 一部加筆 山口)